



平成 29 年 10 月 27 日
佐賀大学大学院工学系研究科

佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施（5）

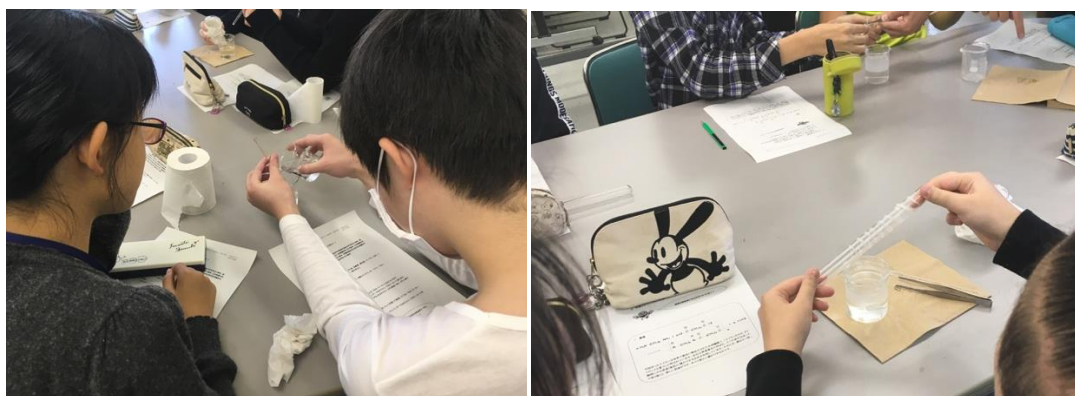
【概要】

佐賀市旧青少年センターの一室にある不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて工学系研究科の教員と大学院生らが本年度 5 回目の理科実験教室を実施しました。

【本文】

理科への興味をきっかけに子供達の就学意欲を惹起することを目的に行なっている理科実験教室の第 5 回目が、平成 29 年 10 月 20 日(金)に機能物質化学科および循環物質化学専攻の学生 3 名と循環物質化学専攻 長田聡史准教授によって、「ナイロンを作ろう」と題して行われました。

ナイロンの開発者に関する歴史的な解説を PC で見た後、ナイロンの作り方の説明を大学院生が行いました。薬品を使うため、大学院生の補助のもと白衣や保護具を使って慎重に A 液と B 液の二つの溶液を調製しました。混合しない二つの溶液の界面からナイロンができていることを確認し、ピンセットで引き上げたナイロンを試験管に巻き取る作業をしました。界面から次々とナイロンができていく様子を見て、生徒たちは歓声をあげながら作業を続けました。ナイロンの合成は高校で学ぶ内容ですが、見た目には不思議な実験を通じて理科をもっと学ぼうというきっかけになれば幸いです。



「理科実験教室」の様子（左：溶液調製の作業，右：ナイロンを試験管に巻き取る作業）